ニュースレター

明治大学史

Vol.3
12 Nov 2007

Center for the History of Meiji University Newsletter

移転オープンした大学史資料センター（2007 年 10 月）

ニュース・ヘッドライン

大学史資料センター移転オープン

大学史の仕事　Q＆A

センター業務記録　2007 年 1 月~7 月

大学史資料センター移転オープン

大学史資料センターは施設拡張のため、2007 年 8 月から一時資料閲覧業務の停止をしておりました。その間ご迷惑をおかけしましたが、この 10 月 4 日、貴重資料庫や閲覧室などを新設した新センター施設を大学会館

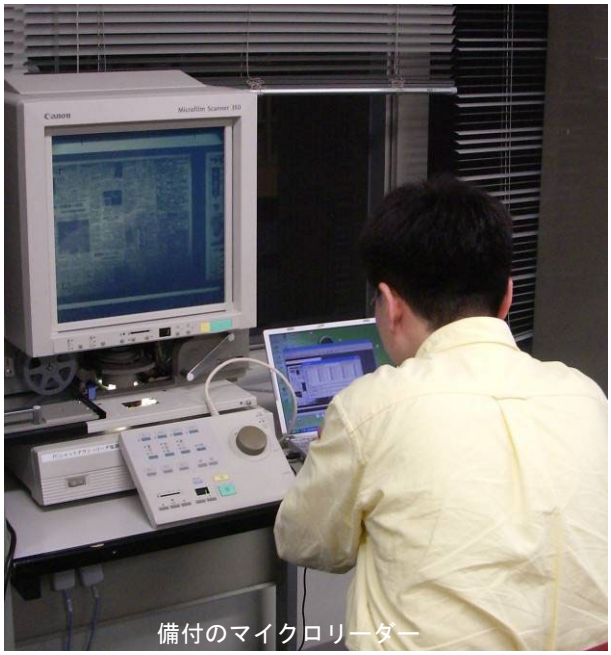
４階に移転開設し、併せて一部の資料についてレファレンス業務の再開をいたしました。

資料収蔵室整備が終了していないため、資料の出納は充分に対応できませんが、センターで所蔵する学内外刊行物・写真類の閲覧等は可能です。詳細はセンターまでお問い合せください。

資料閲覧の全面再開については、来年度を予定しております。利用者の皆様には今しばらくご不便をおかけすることになりますが、ご容赦ください。

センターでは今後より一層、学内外へ向けての明治大学史関係情報の御提供に力を入れて参ります。生まれ変わるセンターへ倍旧の御指導の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

閲　覧　室


備付のマイクロリーダー

第３資料室

大学史資料センター利用の御案内

利用には事前連絡が必要です。その際、利用目的、来室日等について係までご相談下さい。

場　　所　　明治大学大学会館４階

連 絡 先　　〒101-8301　千代田区神田駿河台 1-1　電話 03-3296-4085　　e-mail：history@mics.meiji.ac.jp

開室時間　　月～金　１０：００～１６：００　土　　９：３０～１１：３０

閉 室 日　　(1)日曜日　(2)国民の祝日に関する法律（昭和２３年法律第１７８号）に規定する休日　(3)本大学の創立記念日（1 月 17 日）及び創立記念祝日（11 月１日）　(4)夏期休業期間中においてセンター所長が指定する期間　(5)冬期休業期間　(6)　資料整理その他の理由のため臨時に閉室とする必要がある日

大 学 史 の 仕 事 Q&A

大学史資料センターの活動や、利用者の皆様から寄せられるご要望の中でお応えできる点、できない点について、Q＆A形式でご紹介します。

＜１.センターの仕事＞

Q.大学史資料センターって何をしてるところ？

A.センターの活動は、

大きく分けて下記の７つです。

① 調査・収集
② 整理・保存
③ 問合せ・閲覧（サービス）
④ 編纂
⑤ 教育活動
⑥ 展示
⑦ 地域交流

①の調査・収集活動では明治大学の歴史や卒業生・役職者・教職員に関する調査・資料収集を随時行っています。現在個別調査の他に、センター全体の共同プロジェクトとして、（1）人権派弁護士研究会、（2）三木武夫研究会、（3）木村礎研究会を立ち上げ、資料収集や調査などの研究活動を進めています。

収集した資料は、②整理・保存において、

書籍・文書・物品・写真別に目録を取った上で、形態に応じて保存しています。

そして、調査収集、整理保存を行った成果は次のように活用されます。

③明治大学史に関する各種の問い合わせ・資料閲覧等に対応します。具体的には電話や文書による照会ないしは利用者の方が直接来室して頂いてのご対応となります。

④各種出版物の編集や刊行を随時おこない、情報の発信と共有を目指します。

現在刊行している定期刊行物は、『大学史紀要』、『大学史活動（センターグループ報告）』、『ニュースレター明治大学史』（本誌）です。

ほか、不定期に研究成果を公刊しています。

最近の成果として『尾佐竹猛研究』（日本経済評論社）『布施辰治著作集』（ゆまに書房）（本誌裏表紙広告参照）などがあります。

⑤大学史関係授業や講座を行っています。現在明治大学リバティアカデミーにおいて社

会人向け大学史講座を実施し、明治大学史と大学にゆかりの深い人物の紹介をしております。

⑥いままで蓄積された資料・情報を活用し常設展示（アカデミーコモン地下１階）・各種企画展示・関係故地での展示を行っています。

⑦明治大学ゆかりの地域と講演・展示、シンポジウム等を行うことを通して「地方と大学」との交流に貢献することを目標としています。

＜２.センターの所蔵資料＞

Q.センターにはどんな資料がありますか？

A.高等教育史関係各種資料、および日本の主要大学の沿革史類があります。もちろんセンターで受け入れた明治大学非現用事務文書や学外調査で得た資料類、周辺自治体史、そしてビデオ・各種音源等についても収蔵しています。ただ収蔵庫が離れている関係上、すぐに出納できない場合が多いため、事前にセンターまでご相談下さい。

Q.古い学内新聞・雑誌は見られる？

A.「明法雑誌」、「明治大学学報」、「駿台新報」「明治大学新聞」など、学内刊行物のバックナンバー（原本ないしコピー）を、すべてではありませんが備えています。閲覧を希望される該当号の所蔵についてはお問い合せ下さい。

Q.目録はないの？

A.まだ外部公開しておりません。

内部用の目録はありますが、個人情報公開等の問題が残っているため非公開にしております。いまのところセンターに、閲覧ご希望の資料の有無についてお問い合せを頂き、その上で室員が目録の検索をする形を取っております。プライバシー等の問題をクリアした上で、将来的には目録を公開する準備を進めております。当面ご不便をおかけしますがご容赦下さい。

＜３.センターで出来る事・出来ない事＞

Q.おじいさんの持っていた卒業アルバムがあるので、引き取ってもらえる？

A.ありがとうございます！

お受けした資料は末永く保存し、今後の研究や展示などに利用いたします（原則寄贈のみ。ご希望に沿えない場合もあります）。

Q.古い校舎写真を貸してください。

A.お貸しできませんが、撮影は可能です。

人物・文書・施設・風景・学生生活・付属校・その他に関係した写真類を所蔵しています。所定の書類に利用目的等必要事項を明記して頂ければ、写真資料の撮影が可能です。なお、写真を使用した成果物二部をセンターにご寄贈頂くことがご利用の条件となります。

Q.大学の歴史で知りたいことがあるんだけど、センターで調べてくれる？

A.申し訳ありません。

センターでは利用者の皆様が知りたい情報へのアクセス手段についてご協力（参考調査）はいたしますが、代行調査についてはお受けしておりません。ご了承下さい。

Q.卒業生の住所を教えてもらえない？

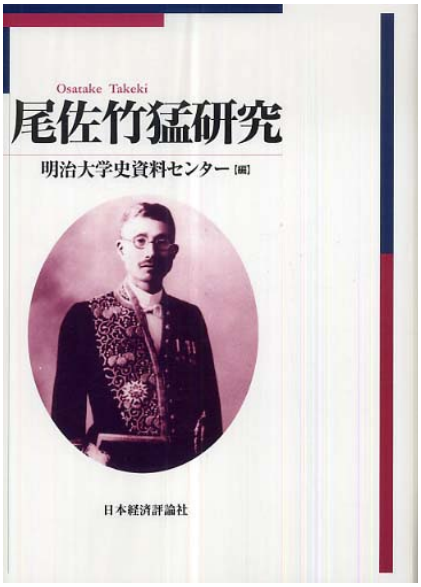
A.申し訳ありません。

個人情報の保護が強く叫ばれる昨今、センターでも内部基準を定め、センターで有する資料や情報のうち、個人の権利・利益を害する恐れのあるものについては、提供を制限しています。詳細はお問合せ下さい。

新 刊 案 内

明治大学史資料センター編

尾 佐 竹 猛 研 究



（日本経済評論社刊　A5 判 361 頁　定価 4,500 円+税）

吉野作造らと明治文化研究会を組織し、明治大学の建学理念と深く関わった尾佐竹の維新史、文化史、憲政史を中心に、人と学問そして事蹟を幅広く論じる。（*ご購入については 日本経済評論社 03-3230-1661 までお問い合せ下さい）

序　章　尾佐竹史学の成立
第1章　司法官としての履歴と時事法律論
第2章　「裁判事件史」の開拓者
第3章　尾佐竹猛の賭博史研究
第4章　民権結社の成立と地方民会論
第5章　明治文化研究会をつらぬく駿台学の系譜
第6章　尾佐竹猛における「歴史と文学」の位相
第7章　近代史の中の郷土
第8章　アンビヴァレンスの人
第9章　書誌調査からみた尾佐竹猛

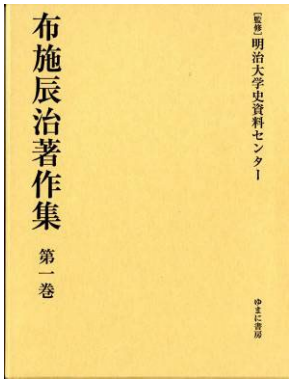
「読売新聞」書評欄で紹介されました！

明治大学史資料センター監修

布 施 辰 治 著 作 集　（ゆまに書房刊　全 16 巻・別巻1）

第1期8巻　　揃定価 183,000 円+税　発 売 中

第2期8巻+別巻1　　揃定価 169,000 円+税　近日刊行予定



米騒動、亀戸事件、朴烈事件、そして三鷹事件等の弁護にあたり、敢然として官権に立ち向かう。大正・昭和期の弁護士、社会運動家、そして日本のシンドラーと呼ばれた男、布施辰治の著作を初めて集成。

（*ご購入については ゆまに書房 03-5296-0491 までお問い合せ下さい）

ニュースレター　明治大学史　Vol.3　　ＵＲＬ　http://www.meiji.ac.jp/history/

発 行 日　２００７年１１月１２日

編集・発行　明治大学史資料センター

住　　所　〒101-8301　千代田区神田駿河台 1-1　明治大学大学会館４階